

の吏員數七十五人に對比するに、其率は正に四割に相當す。若し假りに四割の人員が順次に新陳代謝するものとせば、三年の終りには舊人物は一人も居らざる計算なり。豈驚くべき劇動ならずや。其原因は種々あるべきも、要するに選任方法の簡便なるがために入り易く、待遇の薄きがために出易きなるべし。若し此の點に改善を加ふれば、本市の行政事務は今日に倍徙して良績を收むるを得んか。當面の問題としては、第一著として現行吏員退職給與金條例の一部を改正し、退職給與金を享くる資格中



栗田現助役

一年以上の勤続年限は、之れを三年以上に延長する等の必要あらん。貴重なる市費は俗に盗人に追錢的の愚舉に暴費すべからずと考ふ。但此の如き堅くるしきことは、案内記には無用のやうなれども、決して然らず。滔々として備人根性の輩多き中に、滿綠叢中紅一點否二點の美しき花あるを見るを以つて、上記の苦言は特に其反襯として述べたるなり。其模範的吏員とは

永年勤績者 にして、我吏僚の先輩たる現助役栗田万五郎、庶務課長古川祐太郎の兩氏なり。栗田助役が雇員として始めて横須賀元町外十六箇町村戸長役場に入りたるは、實に明治十七年七月にして、古川課長が始めて豊島町書記に選任せられたるは明治二十二年六月なりき。其今日迄の勤続年數を通算するに、栗田氏は三十一年を超え、古川氏は二十七年に垂んとす。但栗田氏は其任期に年限あり。且つ選任權市會に屬するがため、前期満期と今期就任との間約一箇年、一時閑地に就きたりしが、間もなく輿望を負ふて再任し、以つて今日に及べり。幾代の町長、市長を送迎して之れを輔佐し、隠れたる實際の運用者として、三十年一日の如く恪勤勵精したる其半生の經歷は、兩氏の自ら顧みて衷心の満足を感じる處ならん。自らの事業に興味を求めず。徒らに名と利を逐ふて、轉々浮萍の如き行動を敢てする輩は、到底兩氏光明の心事を付度するを得じ。其待遇の厚薄を云ふが如きは、兩氏に於いては寧ろ風馬牛の感あるべし。兩氏とも其執務の明快精到なるは、今更茲に之れを贊するに及ぶまじ。試みに其特長を擧ぐれば、栗田氏は折衝樽俎に圓滑の才あり。而







現市議員 青木兼吉 木田吉君 山崎泰雄 山崎彦造 石井深峰 戸井次郎 磯田五郎 石井次郎

選挙有権者  
 一級 八五  
 二級 二九〇  
 三級 一、六二三  
 合計 一、九九八

而して議員定員は各級とも十二人合計三十六人なるに由り、議員一人平均の有権者数は左の如く計算せらる。

議員一人平均  
 一級 七・一  
 二級 二四・二  
 三級 一三五・三



現市議員 風川精一 小野佐吉 佐野皆吉 飯島千之助 岡正雄 飯島千之助

總平均 五五・五

右の有権者が直接市税納税総額は金四萬八千九百參拾五圓貳拾錢五厘にして、一人の最多額は金千參百貳拾八圓貳錢、其平均額は金貳拾四圓五拾錢四厘なり。又有権者の中には市外居住者三人と、直接市税を納付せざる者一人を含む。

市會議員 市會議員の定員は前掲の如く三十六人なれども、缺員一人あるに由り。現員は三十五人なり。其氏名左の如し。

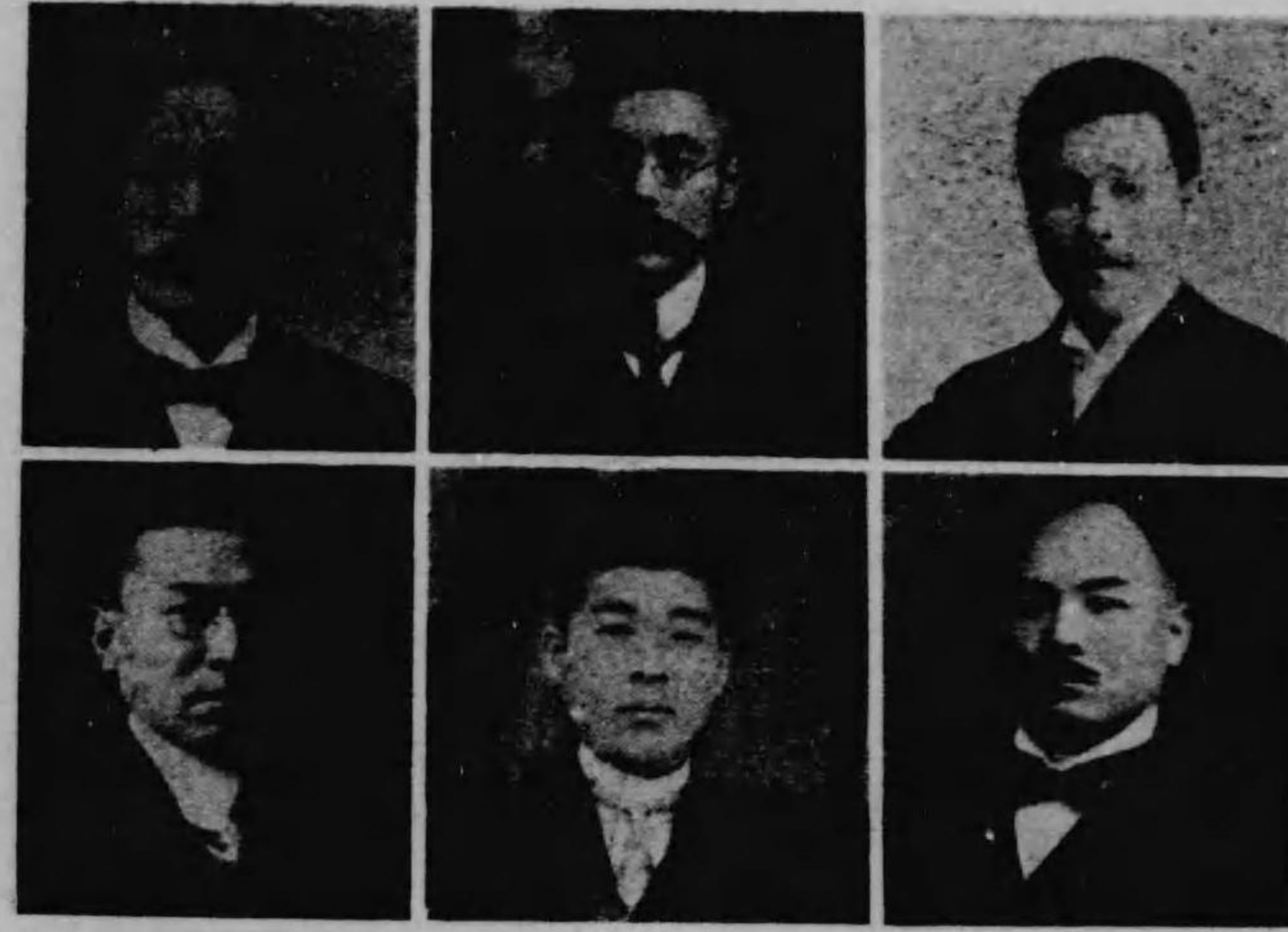
選挙別名  
 一級 青木兼吉  
 同級 山崎泰雄



君吉乙山池 君郎治齋木鈴 君市喜藤伊 員議會市現  
君助次井角 君藏力木鈴 君吉定山小

同 三 同 同 同 同 同 同 同 同 同  
級

石 鈴 小 池 鈴 伊 小 北 清 森 岩 高  
渡 木 山 山 木 藤 林 村 水 本 田 橋  
坦 力 定 乙 齋 喜 伊 喜 源 竹 武 孫  
豐 藏 吉 吉 郎 市 郎 助 七 吉 太 作



君吉竹本森 君作孫橋高 君吉定倉新 員議會市現  
君郎太伊林小 君助喜村北 君七源水清

同 二 同 同 同 同 同 同 同 同 一  
級

新 後 岡 石 川 飯 小 風 深 柴 岸 石  
倉 藤 正 井 島 島 佐 井 崎 田 戶  
定 八 正 長 傳 千 野 峰 次 龜 磯  
吉 郎 雄 門 吉 助 皆 精 次 造 吉 郎



市現議員 今井久次郎 藤松四郎 伊藤松四郎 岩淵陸奥丸 鈴木新五郎 岩淵陸奥丸 庄司權之助 野村増次郎 權之助 今井久次郎 藤松四郎 伊藤松四郎 岩淵陸奥丸 鈴木新五郎 岩淵陸奥丸 庄司權之助 野村増次郎 權之助

三級 角井次助  
 同 今井久治郎  
 同 瀧川宗益  
 同 椿徳次郎  
 同 岩淵陸奥丸  
 同 庄司權之助  
 同 伊藤松四郎  
 同 鈴木新五郎  
 同 野村増次郎

右の中現任の議長は石渡坦豊氏にして、副議長は清水源七氏なることは既に沿革篇の末項に記しが如し。

市參事會員 は議員より選出すべき定員は六人にして、目下缺員なし。其氏名左の如し。

後藤 八郎 椿 徳次郎 鈴木 力藏  
 石井 長右衛門 庄司 權之助 青木 兼吉

之れに理事者たる市長及助役を加へて、市參事會は組織せらる。

市會と市參事會の開會回数と其會議件數 最近三箇年の統計は左に示すが如し。

年次	市會		市參事會	
	開會回数	會議件數	開會回数	會議件數
大正元年	一四	八四	二一	一〇八
同 二年	一四	八九	二九	一一三
同 三年	九	九三	二六	一五二

因みて曰ふ。市會議員及市參事會員も亦其會議に列したるときは、日額金壹圓を費用辨償として受く。

### 六 縣會議員と衆議院議員



現縣會議員 榎次郎君

縣會議員 本市は縣會議員の選舉には獨立の選舉區にして、其定員二人なり。目下選出の議員を榎次郎、三上文太郎の二氏とす。榎氏は前掲の如く本市市會議員並に市參事會員にして、又本縣參事會員なり。

縣會議員選舉有權者 の數は左の如く、

明治四十四年 一、五二四、大正元年 一、八九一、大正二年 一、五八七、同 三年 一、五七三

にして、大正三年現在にては、現住人口百人に付二人〇六に當り、其直接國稅納稅額最多額金千百九拾貳圓四拾五錢五厘、平均額金參拾九圓八拾四錢九厘、總額は金六



三上文太郎君

萬貳千六百八拾貳圓拾九錢五厘にして、稅目別左の如し。

稅目	金額	百分率
地租	一五、二二一・二八〇	二四・二八
所得稅	二二、〇二三・七三〇	三五・一四
營業稅 (賣藥營業稅共)	二五、四三七・一八五	四〇・五八
合計	六二、六八二・一九五	一〇〇・〇〇

又有權者の數を職業別に分けてば左の如し。

職業	人員	百分率	職業	人員	百分率
農業	六四	四・〇七	工業	三六	三・三
商業	四四	四・五	交通業	一〇	一・〇
醫師及獸醫	三	三・二六	辯護士及 代書人	二	二・三
無職業	二六	八・〇一	合計	一五七	一〇〇・〇
			官公吏教 員及社會員 神官僧侶及 牧師	六	六・六

市政と代議員

縣會議員と衆議院議員

**衆議院議員** 本市は近き將來に於いて獨立選舉區たるべきも、目下は神奈川縣郡部選舉區の一部なり。然れども本市及郡部を根據として當選したる、現衆議院議員小泉又次郎氏は本市の出身にして、嘗て本州市會議員に選ばれ、又其議長となりたる等市政に貢獻淺からざる人なり。先年山本内閣瓦解の際其彈劾の急先鋒として奮闘したるは、君が任俠氣を負ふ天稟の流露にして、世人の記憶に未だ新なるべし。今日立憲同志會の幹事たるは誠に適材適所を得たりと謂ふべし。



小泉又次郎 衆議院議員

**衆議院議員選舉有權者** 最近四箇年の調査は左の如

明治四十四年	九九一	大正元年	一、一七九
大正二年	一、一二七	同	三年
			一、一〇八

即ち大正三年の現在數にては、現住人口百人につき一人四五、直接國稅納額最多額は縣會

議員と同じく金千九百九拾貳圓四拾五錢五厘、平均額は金五拾壹圓四拾六錢參厘にして、總額金五萬七千貳拾圓九拾八錢七厘なり。左に字別の内譯を示さん。

字別	人員	百分率	字別	人員	百分率
逸見	一〇四	九・三九	湊町	九	八・一
汐留	三五	三・一六	谷町	一	〇・九
諏訪	一八	一・六二	旭町	四三	三八八
山王	五〇	四・五一	小川	二三	二〇八
若松	一六	一・四七	楠ヶ浦	三一	二・八〇
中里	一〇二	九・二一	佐野	三六	三・二五
坂本	一一	九・九	公郷	一五一	一三・六三
合計	一一〇八	一〇〇・〇〇			

不入斗 四六 四・一五

深田 九九 八・九三

大瀧 四八 四・三三

稲岡 四一 三・七〇

元町 三七 三・三四

汐入 一〇七 九・六六

沙入 一〇七 九・六六

元町 三七 三・三四

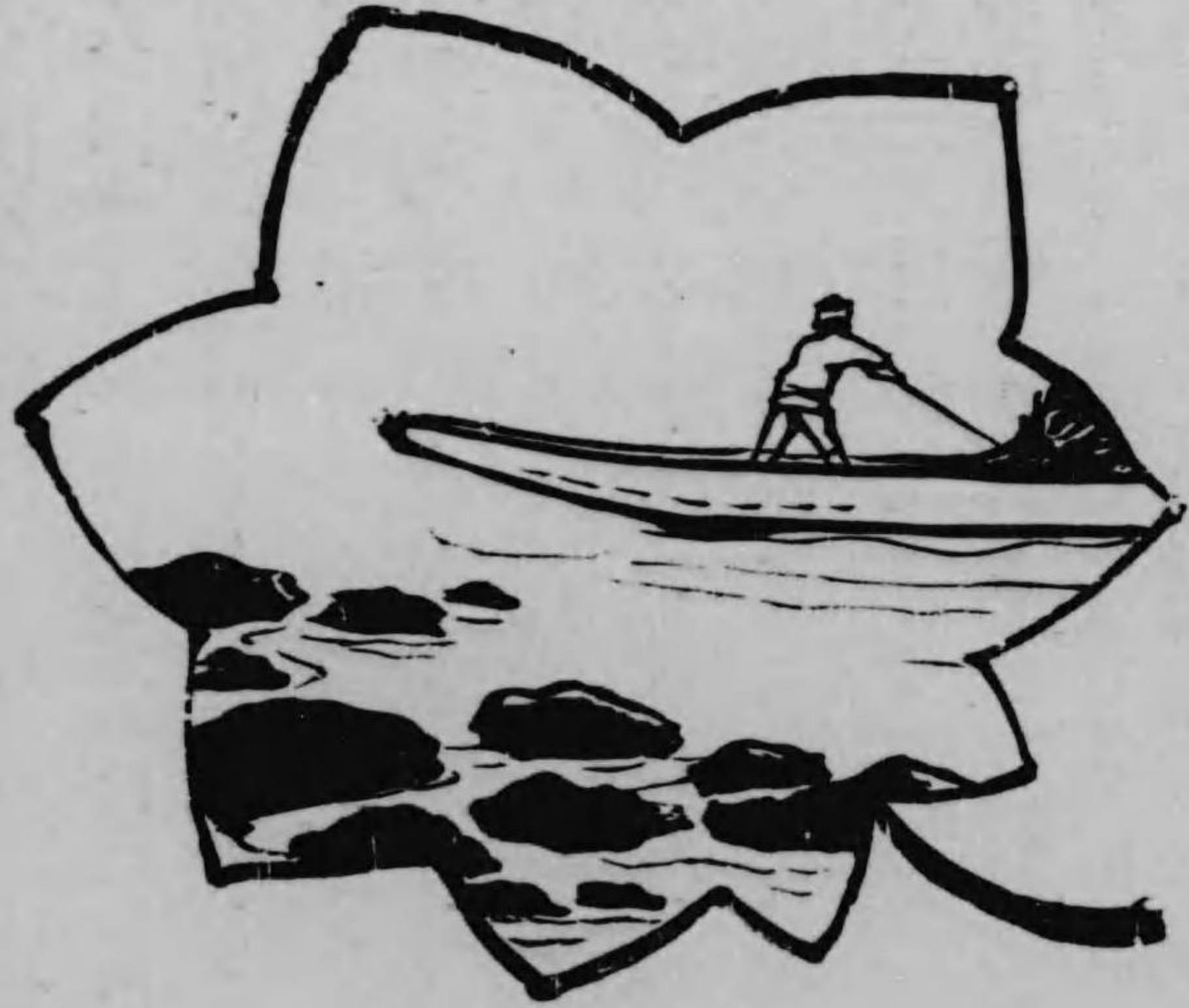
稲岡 四一 三・七〇

大瀧 四八 四・三三

深田 九九 八・九三

不入斗 四六 四・一五





## 附 録

### 一 工廠及軍艦觀覽手續

横須賀海軍工廠及軍港在泊の軍艦は、鎮守府に願出づるときは、差支へなきかぎり毎週金曜日曜の兩日其觀覽を許可せらるゝも、希望者の直接出願は受付けざるに由り、觀覽希望者は、必ず前日中に、横須賀市役所庶務課に紹介方を願出づべし。然る時は市吏員は、當日觀覽希望者を引率して鎮守府に赴き、觀覽の手續を爲し、觀覽者をして易らかに其希望を達せしむ。委細は横須賀市役所規定の左記手續を熟覽すべし。

#### 横須賀海軍工廠及軍艦觀覽紹介手續

第一條 當市役所の紹介にて横須賀海軍工廠及軍艦の觀覽を希望する者は本規定に依るべし。

第二條 觀覽は毎金曜及日曜の兩日とす。但し軍艦の觀覽は當日の都合に依り拒絶せらるゝことあるべく、又工廠の觀覽は事業の都合に依り觀覽區域を制限せらるゝことあるべし。

横須賀案内記

- 第三條 觀覽希望者は前條所定の前日迄に、住所、族籍、氏名、年齢を明記したる名刺を當市役所庶務課に差出し、觀覽當日の午前八時又は正午迄に指定の場所に參集すべし。
- 第四條 觀覽時限は午前九時より十一時迄及午後一時より三時迄とす。
- 第五條 觀覽者は左の各號を遵守すべし。
  - 一 特許を得たるものの外一切撮影、模寫、錄取を禁ず。
  - 二 軍艦内に於ては其の艦の指示に従ふべし。
  - 三 工廠内に於ては諸機械物具に近接し、若くは之れに觸るべからず。
  - 四 工場係員並職工等に對し説明を求むることを禁ず。
  - 五 工廠構内に於ては守衛の制止に従ふべし。
  - 六 觀覽禁制の場所に入るべからず。
  - 七 艦内に於ては指示せられたる場所の外及工廠内の喫烟を禁ず。
  - 八 不體裁の服装を爲すものは觀覽を拒絶す。
  - 九 鎮守府の案内者の指揮は勿論市吏員の指示に従ふべし。
- 第六條 觀覽軍艦は専ら陸岸繫留中のものを以て之に充てらるゝものとす。但し繫留艦船なき場合に限り碇泊艦船を觀覽せしめらるゝことあるべし。此場合に於ける海上輸送及之が保護等に關しては市吏員之を擔任す。
- 第七條 鎮守府に於て差支ありと認められたるときは、觀覽許可後と雖其の許可を取消さるゝことあるべし。

二 里程と賃錢

1 横須賀市三浦半島各町村間陸路里程表

(●を里と町との分界とす)

鐵道	
(一) 横須賀線 (約四十分毎に發車す)	
横須賀	二・三三
田浦	三・四一
逗子	四・五〇
鎌倉	五・〇〇
大船	五・一〇
横須賀	二・三三
田浦	三・四一
浦賀町	三・五〇
久里濱村	四・〇〇
衣笠村	四・一〇
葉山村	四・二〇
逗子町	四・三〇
北下浦村	四・四〇
南下浦村	四・五〇
三崎町	五・〇〇
初聲村	五・一〇
長井村	五・二〇
武山村	五・三〇
西浦村	五・四〇

(二) 東海道線主要驛へ

横須賀	三・六六
東京	三・七六
新橋	三・八六
品川	三・九六
大森	四・〇六
横濱	四・一六
藤澤	四・二六
國府津	四・三六
沼津	四・四六

附・録 里程と賃錢

横須賀案内記

ハ 乗合馬車 横須賀市より三浦半島内各地に達するものを示す。乗合馬車は大に發達し其便を藉りて半島内全部を周遊することを得。

(一) 横須賀 浦賀線 三崎 浦賀線に接続す。市内公郷の田戸を起點として往復す。

區間及賃錢 田戸 四錢 堀内迄 六錢 砂坂迄 七錢 曲屋迄 八錢 火の見迄 九錢 矢の津迄 一〇錢 浦賀迄 一三錢 一區間は金四錢

時間 午前六時より午後八時半迄、十五分毎に發車す。約二十五分にて終點に達す。

(二) 横須賀 長井線 林にて三崎 林線に接続し、市内佐野を起點として往復す。

區間及賃錢 長井、林、花木、衣笠、寶塔、横須賀の各區間金五錢にして、全線は金貳拾五錢なり。但雨天二割増。

時間 横須賀よりは午前八時、長井よりは午前六時第一回を發車し、爾後約四十分毎に一日十七回往復し、午後七時半長井著に終る。片道四十分。

(三) 三崎 浦賀線 浦賀にて横須賀 浦賀線に、三崎にて三崎 林線に接続す。

區間及賃錢 自三崎 自引 橋 七錢 自半 次 七錢 自陣屋前 自津久井 自野比 橋 八錢 自八幡 橋 七錢 自引橋 至南下浦半次 至北下浦陣屋前 至津久井 至野比橋 至久里濱八幡 至浦賀 全線 五〇錢

時間 三崎發午前八時、午後一時、浦賀發午前十一時、午後四時半の一日二回往復にして、片道二時十分を要す。

(四) 三崎 林線 三崎にて三崎 浦賀線に、林にて横須賀 長井線に接続す。

區間及賃錢 自三崎 自引 橋 一五錢 自初聲村役場前 全線 三五錢

時間 三崎發午前八時、午前十一時、午後二時半、林發午前十一時、午後零時半、午後六時半の一日三回往復にして、片道一時十分。

(五) 長井 葉山線 林四ツ角にて三崎 林線に、葉山にて逗子 葉山線に接続す。

區間及賃錢 自長井 自林四ツ角 五錢 自長坂 自蘆名 自秋谷 自子産石 八錢 全線 三五錢 但雨天二割増

時間 長井よりは午前七時半、葉山よりは午前九時半第一回を發車し、爾後約一時間毎に一日九回往復し、午後六時半長井著に終る。片道一時間。

(六) 西浦 長井線 (五)の長井 葉山線の秋谷を起點とし、其長井に達するを西浦 長井線と云ひ、葉山に達する

(七) 西浦 葉山線 を西浦 葉山線と稱す。

區間及賃錢 凡べて長井 葉山線に同じ。

時間 長井行は午前七時半より午後四時まで、葉山行は午前八時より午後五時まで、午前中は三十分毎に、午後は一時間毎に、孰れも秋谷起點を發車して一日十一回宛往復す。但季節に依り多少の變更を爲す。到着時間長井行三十五分、葉山行二十五分。

(八) 逗子 葉山線 葉山にて長井 葉山線及西浦 葉山線に接続し、逗子にて横須賀線鐵道に連絡す。

錄附 里程と賃錢



横須賀案内記

観念寺	三浦病院	要塞司令部	區裁判所	柏木田大門	寶塔	武山村役場	大津勝男館	馬堀射撃學校	浦賀警察署	鴨居八幡前	ヘルリ紀念碑	
二六〇	一八三	一八三	二〇五	二七三	二〇三	七〇三	〇三三	〇三三	〇三三	〇三三	〇三三	
六二四	七七一	七七一	九八八	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	
孤兒院	海軍病院	中里翁湯	三浦郡役所	佐野妙榮寺	衣笠公園	長井村役場	海軍監獄	浦賀芝生橋	浦賀宮下	觀音崎	上宮田陣屋前	
二六〇	一八三	二〇三	二〇三	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	
一〇六	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	
深田郵便局	中里自身番	重砲兵旅	團司令部	田馬車駐車場	横須賀中學校	衣笠村満昌寺	山崎巡査駐在所	大津矢の津坂	走水	浦賀洲崎	久里濱八幡橋	三崎警察分署
二六〇	一八三	二〇三	二〇三	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二
二六	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
九六	七九	九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六

待時間は一時間毎に金拾錢。但三十分以内は支拂ふに及ばず。往復は一刻引。夜間は一刻増。暴風雨雪等惡路の際は三割増。手荷物重量三貫目以上六貫目迄三割増のこと。以上。

定期汽船 本市を通過する者左の如し。  
 (一) 三盛丸

時間 横須賀發毎日午前十一時半。復航なし。  
 寄港地 浦賀、三崎、長井行。  
 賃錢 浦賀迄金拾壹錢。三崎迄金參拾壹錢。長井迄金四拾六錢。但小兒は約半額にして、通行税を含む。以下皆同じ。

(二) 田浦丸

時間 往航横須賀發毎日第一次午前十一時、第二次午前十一時半、第三次午後三時半(以上東京より來れるもの)。復航横須賀發毎日第一次午後零時半、第二次午後一時半、第三次午後三時半(以上房州より來れるもの)。  
 寄港地 往航浦賀、金谷、保田、勝山、富浦、船形、那古、北條、館山行。但第二次は浦賀に寄港せず。復航館山、北條、那古、船形、富浦、勝山、保田、金谷、浦賀を経て著港し、横濱、品川、金杉、東京行。但第一次は品川、金杉に寄港せず。  
 賃錢 東京金四拾錢。横濱金貳拾錢。浦賀金拾參錢。房州は富浦迄は金五拾八錢。船形より館山迄は金六拾參錢。

(三) 貞喜丸 横須賀横濱間を往復す。

時間 横須賀横濱共午前七時半、同十時、午後一時、同三時半の四回出航す。  
 賃錢 金貳拾壹錢。回数券二十回分金參圓五錢。

ト 金澤行通船 吉倉運輸組にて取扱ふ。出航時間規定なし。乗客定員に滿つる毎に發航す。定員は一隻三人以上にして、吉倉より金澤迄の賃錢は一人金八錢。借切一隻金貳拾

附錄 里程と賃錢

横須賀案内記

四錢なり。



大正四年九月二十五日印刷  
大正四年九月二十八日發行

(非賣品)

編纂者

横須賀市役所

版權所有者

同 上

發行者

横須賀市役所内  
横須賀開港五十年祝賀會

印刷人

東京市本郷區湯島切通坂町二十五番地  
木澤 孚

印刷所

東京市本郷區湯島切通坂町二十五番地  
畫報社

版權  
所有

廣

告

横須賀市



橫須賀鎮守府表門前

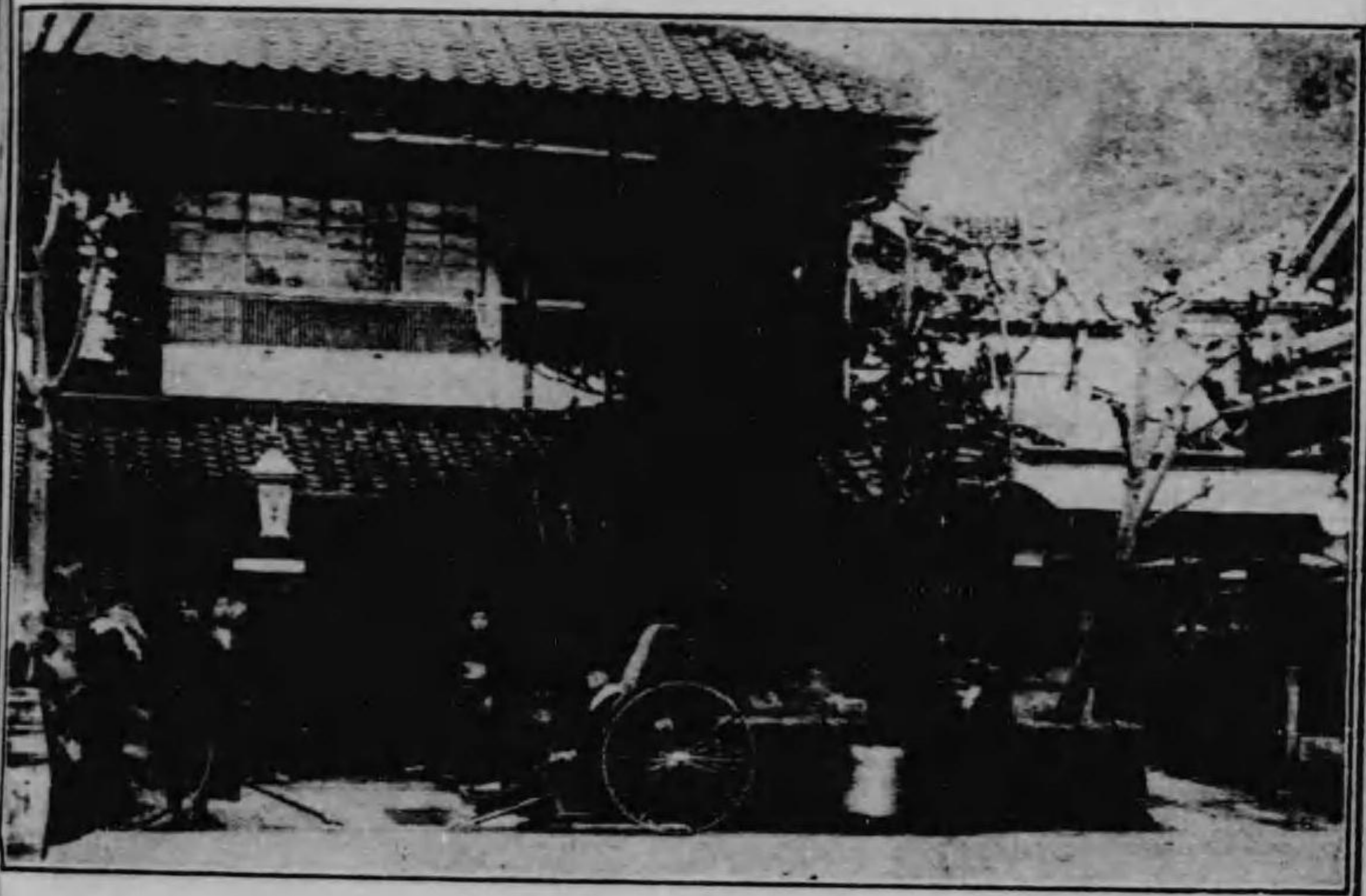
內科  
小兒科

林醫院

院長醫學士 林 學

電話六六八番

林醫院



鎮守府及工廠ハ前面ニ、市役所及公園ハ裏手ニ指呼ノ近キニアリ。其他諸官衙、銀行、會社、又ハ重ナル名跡モ多ク附近數丁ニ圍繞建在ス。諏訪公園ハ本市中央ノ小丘ニアリ。茲ニ登テ市内外海陸ノ全勝景瞰望ニ好適ナリ。又日蓮上人舊跡、安針塚ノ名所等アリ。

創業約八十年専ラ確實親切勉強

ヲ家憲トシテ今日ニ至レリ。何

卒御引立テ御入宿ヲ希上候。而

シテ拙店ハ元町ニテ本市中央部

ナレバ總テ御用辨ニハ至極ニ御

便利ナル位置ニ御座候 敬具

ヨコスカ鎮守府

東門マエ元町

## 三富屋旅館

電話(二十九番)

# 池部齒科醫院

院長 池部 虎雄

電話五百三十五番

横須賀市元町二番地

吳服太物 洋織物 商 ㊦ 後藤吳服店

横須賀市 公郷町字池の端

旭日生命保險株式會社 横須賀公郷代理店

後藤 八郎

電話一五一番

内田孝忠、中久保濱子、精養亭、米月

六

横須賀市深田九三  
公證人 内田孝忠

産婆

横須賀市深田一〇九  
(祖師堂台門)

中久保濱子

横須賀市山王拾番地

西洋御料理 精養亭

電話二六〇番

米ヶ濱

龍本寺境内

茶店

米月

白井ツマ

岩淵産科婦人科病院



院長 醫學士 岩淵陸奥丸  
横須賀市若松

岩淵産科婦人科病院

七

春日野、小島門次郎、山下支店、芦川市太郎

八

横須賀市公郷池の端

### 春日野蕎麥店

近島 健治  
電話 六四七番

横須賀市公郷字池の端  
二三八六番地

高等御履物  
製造卸小賣  
小島門次郎

横須賀市公郷

貳千參百八拾六番地

### 山下支店

米穀、薪炭  
味噌、醬油  
罐詰、雜貨  
和洋酒類  
山下 濱次  
電話 六三九番

### 寶せんべい

横須賀市公郷池の端  
三浦郡役所前

芦川市太郎

資本金百五拾萬圓

積立金百四拾四萬圓

横須賀市旭町三十番地(電話 六番)



## 株式 第二銀行 會社

# 横須賀支店

第二銀行支店

九

吳服太物唐物  
綿蒲團蚊帳

大安賣

横須賀市大瀧町九番地  
郵便局ヨリ五軒目角

尾張屋吳服店

◎活版諸印刷物

迅速鮮明調製仕候

◎全國諸新聞大取次販賣

◎日刊相模中央新聞發行

横須賀市元町

横須賀 進文堂

電話 三百四十三番

客室清潔、御取扱懇切

御待合

志きし海

横須賀市若松町電話三〇四  
(歌舞伎座前)

天然色活動寫真株式會社特約

相模中央新聞社直營

活動大勝館

毎木曜日新寫真全部差替

横須賀市米ヶ濱

謹<sup>而</sup>開港五十年祭ヲ御祝ヒ申上候

風光絶佳 空氣清潔

東京灣ヲ一望ニ鐘ム

和洋  
御料理

開陽軒

大瀧町海岸  
電話特一〇五番

魚肉精鮮なるものを選びて美味調進仕候

不偏不黨横須賀市ヲ中心トシテ湘南半島

商業界ノ羅針盤タリ

創刊明治三十八年

日刊  
相模中央新聞

定 價 一部金貳錢 一ヶ月廿五錢 郵税一ヶ月拾參錢

廣告料 一行四拾錢 特別五拾錢 雜報欄内壹圓

發行所 横須賀市元町十番地 電話 七十三番  
支局 三浦郡田浦町舟越 電話 三百四番

横須賀市山王三十八番地

土木建築

米酒商

上杉徳太郎

電話四七五

誠實 誠意  
勉強

小佐野吳服店

店主 小佐野皆吉

電話四〇六番



祝開港五十年  
御詔染物一式

懇切丁寧迅速に御調製可仕候

横須賀市中里二十番地

全藤屋染物店

海陸軍御用

旅館

一國屋

横須賀驛前

小瀧錦三郎

電話四一三

美 術 漆 器

美術漆器雜貨販賣  
諸公債株式現物商

橫須賀市山王貳拾貳番地

井 口 商 店

電話三四一  
電信井口

諸 公 債 株 式

井口商店

一八

大塚旅館

大塚勝藏

橫須賀市公郷  
三浦郡役所下

電話一五一番  
使用

大塚旅館

一九

### 商 品 案 內

白米、雜穀、酒類、煙草、  
鹽、油類、雜貨、

登錄商號

## 小 山 商 店

橫須賀市楠ヶ浦

電話三〇七番

八千代生命保險株式會社

橫須賀代理店 小 山 定 吉

工業器具  
醫藥器具  
內衣

橫須賀市若松八拾八番地ノ貳

## 橫濱電氣株式會社橫須賀支店

電 話 二 一 四  
三 二 二

內外純良藥品  
醫療理化學器械  
工業用藥品  
寫真器械及材料  
衛生滋養品一切  
醫藥用生葡萄酒  
繪具染料線香類  
度量衡器販賣

處方調劑所

藥劑師 栗田鍋五郎藥局

橫須賀市元町二十三番地

電話二二六番

白米  
木炭

おろし小賣

橫須賀市不入斗貳壹貳

川島喜之助商店

電話百六十三番  
電略(カワ)又(ハカ)

板硝子商

諸官衙御用

横須賀市旭町十六番地

山内信次郎商店

電話 三百六十三番  
電略(ヤマ)

山王町二十番地

旅舍

玉廼家

横須賀市公郷池ノ端二三八五

吉川理髮店

吉川己之助

祝開港五拾週年

大日本麥酒株式會社海軍上納特約

清酒天晴、芦田鶴、專賣元

藤井勝一商店

海軍御用達  
水交社御用  
海友社御用

横須賀市旭町二十六番地

電話(五百三十一)

# 小泉旅館

小泉

きん

横須賀市公郷  
字池の端二三八二



横須賀市沙入六番地

## 衣笠寫真館

電話二百五十九番  
振替口座東京一四四一五

# 御料理

横須賀市公郷字池の端二三八六番地

伊藤旅館 伊藤幸次郎

電話一五一番使用

仕出し  
御料理  
御辨當

横須賀市山王一七

梅林

電話四六〇番

# 貸席

諏訪公園

梅林支店

小林林藏

横須賀市中里十八番地

藤田屋號

本店 田中文之助

電話(六十二番)



米酒罐  
詰雜貨商

同 佐野五百九番地

支店 藤田屋支店

美 術 斬新流行

玩 具 玩 具 玩 具

和 洋 小 間 物 類

糸 る る 品 々

横須賀市中里二七  
(司令部通)

長谷川商店

長谷川商店、小島助太郎、山本信隆

横須賀市中里一〇

高 尙 履 物 商 小 島 助 太 郎  
粹 雅

醬 油 小 賣 專 業 山 本 信 隆

横須賀市大瀧町横須賀座前



祝 開 港 五 十 年



株 式 會 社  
日 本 實 業 銀 行

橫 須 賀 支 店

橫 須 賀 市 深 田 三 一 番 地

電 話 一 六 七 番

同 汐 入 支 店

同 市 汐 入 三 六 九 番 地

電 話 五 六 〇 番

本 店

鎌 倉 小 町 六 七 番 地

電 話 一 二 番

葉 山 支 店

葉 山 堀 內 六 二 四 番 地

電 話 五 番

日本實業銀行橫須賀支店、汐入支店

三三

祝

橫 須 賀 開 港 五 十 年



專 門

三 清 堂

羊 羹

石 川 清 吉 謹 製

橫 須 賀 市 佐 野 五 百 九 十 九 番 地  
海 軍 病 院 前 通 九 番 地

三 清 堂

三 三

祝橫須賀開港十五年  
篆刻應好 海軍御用

金銀水晶竹石象牙  
角類木版ゴム印

彫刻

尚ホ御印判用ノ印肉各イソク並ニ附屬品象牙水牛  
角印判材料大販賣仕候

御印師 綠山堂 渡邊耕石

橫須賀海兵團門前

橫須賀市湊町二十七

米穀酒類雜貨商

今井留吉

電話七〇三番

# 米穀類商

橫須賀市旭町三十四番地

青木兼吉

電話〔百五十二番〕  
電 零〔アラキ〕又ハ〔ア〕

# 小兒專門

橫須賀市小川貳番地電話四六六番

須田小兒科醫院

院長 須田爲章

# 祝橫須賀開港五十年

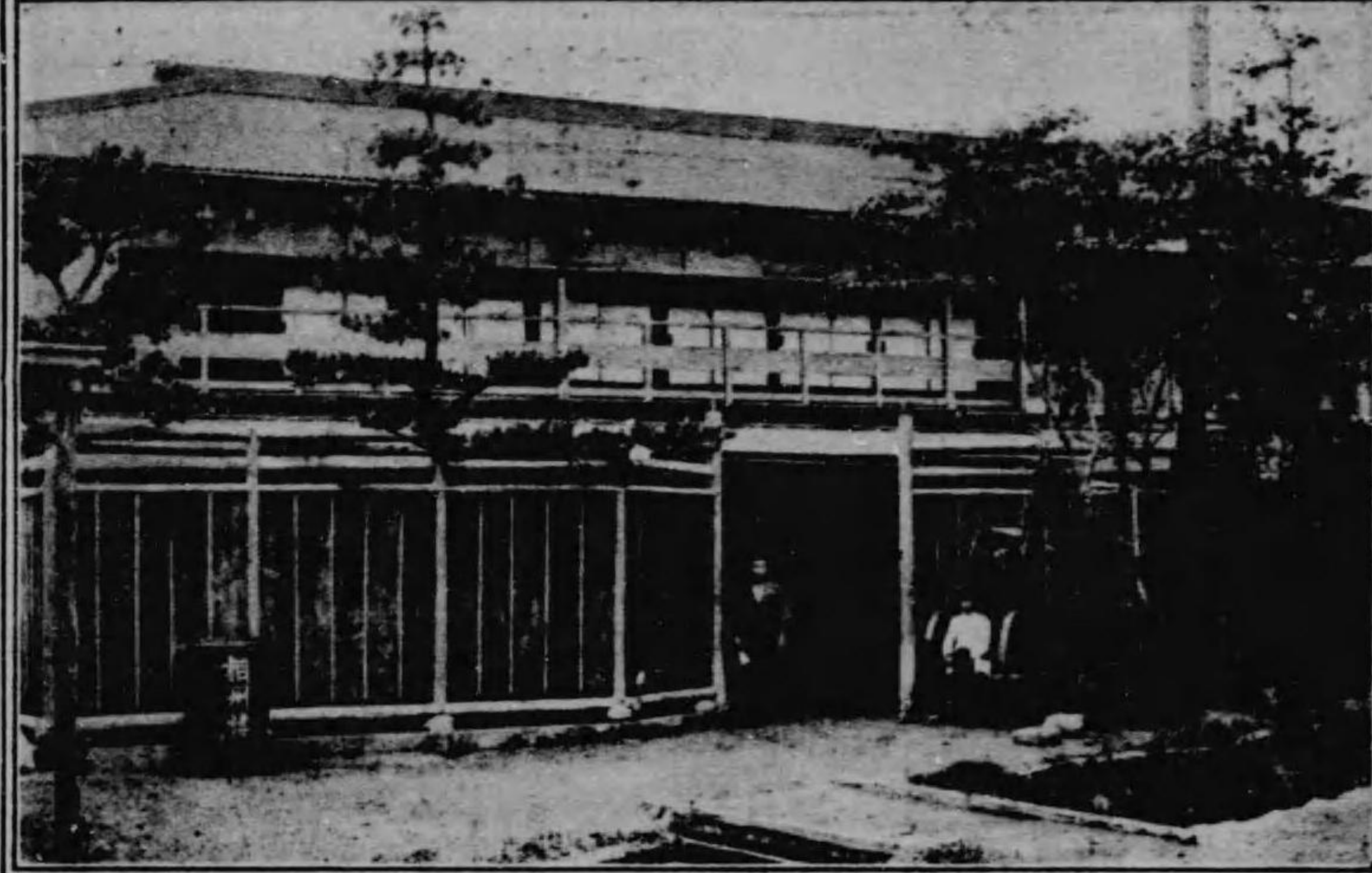
書籍類  
諸雜誌

大販賣所

橫須賀市大瀧町

# 起明堂書店

渡邊與三郎  
電話百七十八番



横須賀市

遊廓

相州樓

電話架設中

横須賀市元町鎮守府前

天ぷら  
しまもり

電話三三九番

土岐電  
 岐電話  
 須賀小五  
 市賀兒科  
 中里院  
 横須賀小五  
 院

祝軍更科  
 開港 港 港  
 五名 大瀧町  
 十年 物  
 若松庵  
 電話貳五七番

# ヨーグルト

を日常飲用せらるれば病根を一掃し活力を増進す、例へ之を御好みにならない方でも、コレラ、チブス、赤痢等の悪疫豫防の爲め時々飲用せらるれば衛生上の安心が出来ます

横須賀唯一製造販賣

元町十九番地

榮生舎

取次申込所

同

村松紙店 (電話四三八)

取次申込所

沙入七番地

鬼澤牛乳店 (電話三五)

# 祝橫須賀開港十五年

營業種目

國產會津漆器販賣  
御印入賞品引物調進  
金銀木陶盃美術  
紀念品各種調製  
海軍凱旋靴中敷發賣元

會津屋 渡部忠七

橫須賀海兵團門前

謹告

弊店ハ誠實廉價ト商品ノ堅牢意匠新案懇切迅速ヲ旨トシテ  
貴命ニ應ズ可ク候ニ付多少ニ不拘御引立奉希上候

乾物類  
果物  
野菜  
砂糖

橫須賀深田三四

# 伊東佐藏

電話六〇九番

バイオレット匂入

# ピノール

本舗

東京 武井

椿油

化粧液

石鹼

横須賀市汐入町三六七

雑貨卸商

田邊重郎

特約販賣

若松町六番地

川島紙店

電一六一

横須賀深田女學校下

文具商 鈴木商店

竹壽し

元町四番地

村上辰藏

(電話五四六番)

藝妓屋

さとし 豊年 町奴

大瀧町二十七番地

柳屋 島ヤス

川島紙店、鈴木商店、村上辰藏、島ヤス

# 山羊乳破格販賣

山羊乳の人體に最も適切なる滋食品にして而も醫藥的效驗を有し乳汁中  
 最卓逸の良品なることは既に歐洲諸大家の定評ある所なり  
 近來我國に於ても高貴方の争ふて需用せらるゝに至りたることは下總御  
 料牧場に於て數千の乳用山羊を飼養せらるゝに視ても明かなる所なり

横須賀市坂本九番地

山羊乳搾取販賣所

飯塚牧畜場

當牧畜場は曩に農商務省種畜場より最も良種の乳用山羊數十頭を拂下げ  
 専ら蕃殖を計るの傍ら此有益なる滋養飲料を各位に供給せん爲め朝夕搾  
 取配達仕候間何卒御用命仰付られ度希上候 敬白  
 京濱に於ては一合代價金八錢乃至十錢の所弊場にては  
 一合金四錢の廉價を以て御用命に應ず

土木建築工事設計

一般土地測量事務取扱

横須賀市山王五十二番地

市役所下

宮崎工務所

遠近に不係御報次第參上應需

祝開港五十年

御待合

三好滿壽

松喜久

電話四〇九番



海軍御用達

薪炭油類販賣

横須賀市旭町

鈴木重次郎

電話五二六番

砂糖

卸小賣

川島商店

横須賀市中里九番地

川島福太郎

電話一一五

祝開港五十年

吳服太物並二

御婚禮用具箆笥一式

横須賀市中里七

北村吳服店

電話六十七番

# 祝 開 港 横 須 賀 上 町

岩名	長隆	第二千	相川	廣竹	地洋	武藏	富容	第一千
堀軒	軒	吉軒	軒	軒	軒	軒	軒	吉軒
岩堀	佐々布	三橋	萩原	石川	相原	小原	石井	吉川
留吉	彌藤治	浦吉	甚藏	竹三郎	金次郎	富次郎	吉之助	初太郎
		隆次	之助	三郎	助	助	助	太郎

福床	東京	第五千	春洋	定	遠山	黑川
柳田	塚本	吉川	小林	中田	安部	七左衛門
波吉	本六郎	綱五郎	林與	田定吉	川寅吉	
	寅吉	五郎	彌	友矩	友矩	
	吉	郎	太郎	吉	吉	

# 五 拾 年 理 髮 組 合

龜	龜	旭	龜	小東	鎌田	鈴木	土屋	加藤	櫻井	松井	靜浦
床	床	軒	床	軒	喜一	爲吉	市太郎	鶴吉	豐吉	房次郎	軒
近江	松林	鶴若	平井	鶴若	久間	爲吉	市太郎	鶴吉	豐吉	房次郎	
丑三郎	菊次郎	支店	昇	龜吉	萬吉	爲吉	市太郎	鶴吉	豐吉	房次郎	

分	第四千	東洋	山崎	東	寺坂	岡野
第二千	吉軒	軒	西粹軒	軒	吉次郎	喜一
鋪	軒	山	石渡	塚本	波鯛	
岩崎	辰藏	中與	忠次郎	三郎	次郎	
		一	郎	郎	郎	



花柳病

専門

婦人科

殊ニ慢性淋病、梅毒

診察時間 朝八時ヨリ 夜九時迄

横須賀市汐留町一〇

善生堂醫院

下士卒集會所裏通リ  
地蔵 脇

陸海軍御用達

牛豚肉商

横須賀市元町

竹内金三郎

電話一〇〇番

一御手輕て安直は

若松町の房州屋

●御料理仕出し

●天ふら鍋類

横須賀市若松町大通リ

房州屋

●柳川牛鍋

電話三四四番

一料理が新鮮で迅速なのは若松町の房州屋

石灰蠣灰セメント  
壁用品一式並荒物  
各種

横須賀市大瀧四番地

今井市兵衛

(電話三三四番)

# 業務敏速確實

横須賀市大瀧五番地

海軍御用

物品販賣 合名  
並代理業 會社

# 日の出商會

取扱丁寧懇切

電話一七六番

米酒類  
雜貨類

諏訪三十番地

露木浦吉

電話二七一番

浦賀水飴  
和洋御菓子  
いさご煎餅

其他御注文ニ應ジ種々ノ御菓子製造  
可仕候

諏訪一番地

太平堂

電話五〇五番

横須賀市大瀧十八番地

米穀酒醬油類  
雜貨卸  
内外貿易商

丸田商店横須賀支店

電話六六四番

滋るや酒場部の設備あり

和洋建築諸金物  
諸器械附屬品商  
銅鐵諸金屬類

海軍  
御用

高木吉次郎商店

神奈川縣横須賀市汐入拾七番地

電話十六番  
振替口座東京三二二八番  
電信略語(夕)又ハ(夕カ)

大瀧町拾參番地

濱田齒科治療所

祝開港五十年

富士見館

海軍糧食用達



青物市場

大瀧町

青物販賣部

山王町

横須賀市大瀧町

青木八太郎

電話五六六番

營業品目

處方調劑、醫療藥品、醫療器械  
衛生材料、化學藥品、工業藥品  
繪具、染料、塗料



廣屋高木藥局

横須賀市旭町五十三番地

電話三十一番

千藥學士 高木釦壽郎

しも やけ 奇蹟軟膏

解熱 快

藥新

本舖

内山豊次郎、村上堂醫院、一二三書店、大貫磯太郎

六〇

### 御待合

喜久家

横須賀若松

内山豊次郎

電話四二四番

横須賀市大瀧町

村上醫院

電話三五六番

○横須賀市街地圖

○三浦大介

○海軍寶典

送金五錢  
送金四十二錢  
送金四十四錢  
送金五十四錢  
共銀

横須賀市旭町

發行所 一二三堂書店

電話六十五番  
振替口座東京一〇二〇一番

### 御待合

つた家

横須賀市旭町

大貫磯太郎

電話三〇三番

●軍港名代の天ぶら召し上りませ

大瀧町大通り

電話一七七番

# 佐倉屋

●出前は迅速持参、天ごん、親子井

佐倉屋

六一

横須賀市元町

### 龜屋旅館

電話三三三番

### 藝妓屋

横須賀市大瀬

### 新若柳

笠原たみ

月松  
小一猫

電話五五九

### 質商

横須賀大瀬町

### 瀬口本太郎

### 軍港名代の

おしるこを召し上りませ

横須賀市旭町勸工場前

### 静岡屋

◎出前は迅速に持参いたします

### 祝横須賀開港五十週年

三。清 酢

カブトビール

### 特約店

酒類問屋

横須賀市山王町二十三番地

会

合資  
会社

### 中埜酒店横須賀支店

電話五一九番



角井豐次郎、蛭田印店、佐々木印房、玉井茂平

六四

横須賀市若松町五拾番地

竹彦號

竹材木材三州  
瓦販賣請負業

角井豐次郎

ゴム印  
御印章

蛭田印店

横須賀市元町一

御印章板木ゴム印製造

佐々木印房

横須賀市若松一番地

雜貨商

煙草油  
賣藥其他

玉井屋

横須賀市逸見町

玉井茂平

質機有

料肥積堆益國

元造製

地番貳拾五百本坂市賀須横

社會資合料肥共丸

丸共肥料合資會社

六五

株式會社鎌倉銀行



本支店代理店所在地

本 店  
 逗子支店  
 葉山支店  
**横須賀支店**  
 逸見代理店  
 長谷代理店  
 材木座代理店

相州鎌倉町小町 特設(電話鎌倉十六番)  
 相州逗子町千五番地 特設(電話逗子四番)  
 相州葉山九百八拾八番地 特設(電話葉山十三番)  
 横須賀市元町貳番地 (電話七十二番) 支店長 今井市兵衛  
 横須賀市逸見(海兵團前) (電話二二四番)  
 相州鎌倉町長谷 特設(電話鎌倉四十七番)  
 相州鎌倉町材木座 特設(電話鎌倉十七番)

鎌倉銀行支店

六七

糧食品商  
 漬物乾物

横須賀市汐人  
**飯島菊藏**

■優良なる商品を最も廉價に販賣するは弊店の主義なり■

洋式帳簿  
 文具具商

清水良平商店

横須賀市平坂下角  
 電話六三七番  
 振替東京二九四七九番

■信用ある商品を販賣する顧客本位は弊店の主義なり■

飯島菊藏、神谷大藏、清水良平商店、小鮎ウラ

六六

三河屋糸店

神谷大藏  
 横須賀市旭町

御料理

當市深田字米ヶ濱  
 米浦 小鮎ウラ  
 電話二三八番

葉山離宮御用

海老安良禮發賣元

美術小間物  
龜甲蒔繪櫛笄  
珊瑚珠貴金屬

宮島伊助

横須賀市諏訪町

海軍御用達

建具指物業

横須賀市若松

指濱

石材商

横須賀市大瀧町

鈴木角藏

機械工場用品

諸工場傳動装置及用品

原動用蒸氣機械及蒸氣用品

製材及木工場用品

礦山用諸機械及運搬装置

埠頭及築港用諸機械

電氣及瓦斯發生機械

專門特種機械

「ボールパン」「ドライブパン」  
「ウォーシントンポンプ」専門

東京市京橋區新肴町三番地

碌々商店

電話京橋六六〇、四六六一、一四六〇  
電信略號六六、播磨口座東京二二二

札幌區北四條西四丁目一番地

碌々商店支店

電話一〇番、電信略號廿六

横須賀市若松八十四番地

碌々商店横須賀出張所

電話四一四番、電信略號三六

東京市京橋區新佃島西町一丁目一、二番地

碌々商店製作部

電話京橋二五七五番

渡邊傳次郎、松永本店、橋本よし

七〇

御旅館

三崎屋

横須賀市若松町

渡邊傳次郎

横須賀市小川町角

白米問屋 松永本店

電話一五七

出張所

逸見六二五

藝妓家

横須賀市大瀧町

新美満壽

橋本よし

綾龍  
金龍  
七五三

電話一七四番

秋本質店

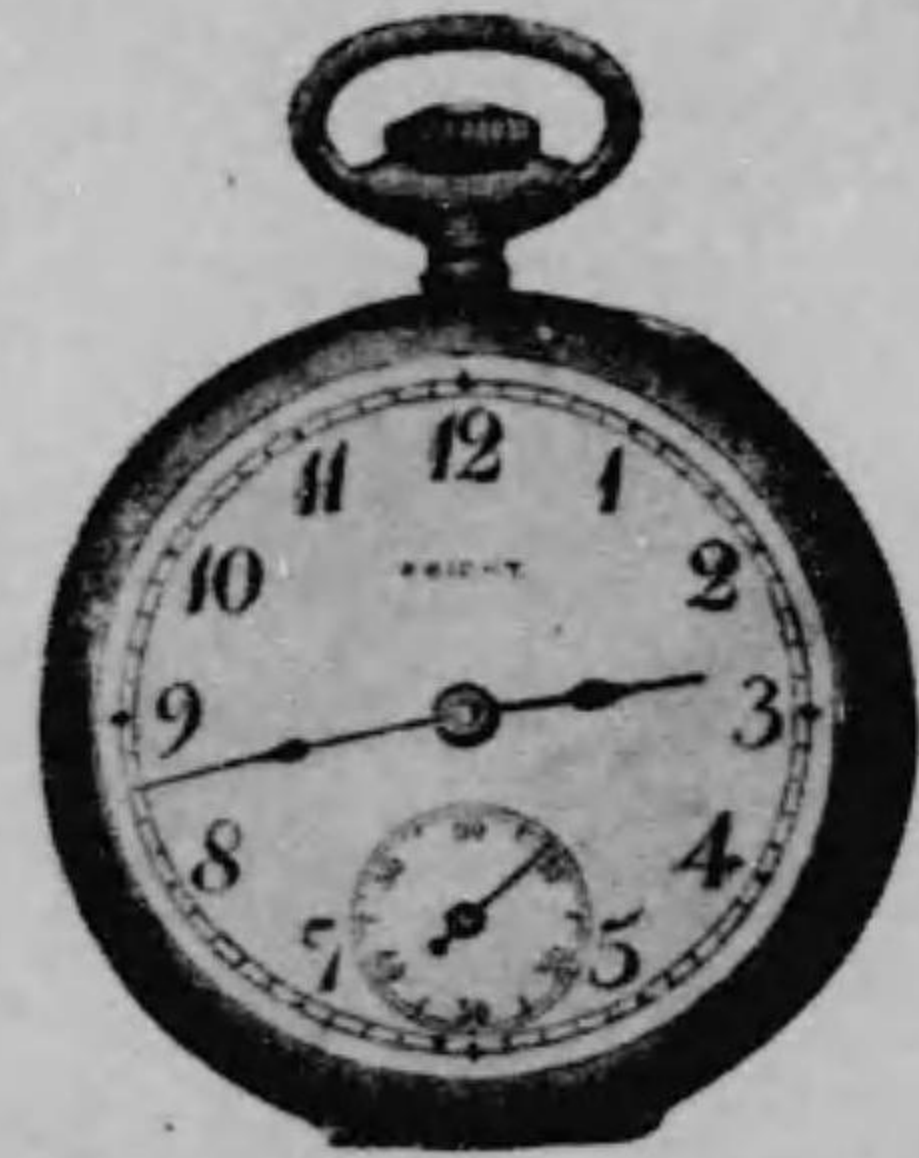
秋本吳服店

横須賀市汐留四十四番地

余秋本國松

電話五三八番

祝開港五十年



松本時計店

専門修理

クロナメーター  
クロナメーター  
クロナメーター  
航海用計器類

總テ修理品ニ  
對シ日差成績  
表ハ貴需ニ應  
ジ作成仕候

營業品目

最新流行時計及附屬品  
貴金屬指環眼鏡及美術品  
氣象用航海用計器類

横須賀市逸見海兵團協

松本時計店

七三

旅館  
御料理館

朝

日

館

横須賀市若松八四

藝妓家

菊よし

大瀧四十三番地

彦路キク

電三六九番

彦路キク、松田ハル、朝日館

藝妓屋

春柳

かあいご  
のやしぐ  
子子子子

大瀧町二十七番地

松田ハル

七二

日之出屋  
小間物店

清水屋吳服店

横須賀市逸見町

飲食店

小川町三番地

二見屋

當社入荷物ニ對シテハ總テ  
誠意勉強ヲ旨トシ遺憾ナク御取扱申可候  
海產物委託販賣



株式會社

横須賀魚市場

電話(五八番)  
電略(〇)

原倉吉、佐藤醫院、方波見寫眞館

七六

陶器

卸小賣

明石屋商店

横須賀市中里五番地

原倉吉

電話一三四番

内科 小兒科 診療

横須賀市汐入五番地

佐藤醫院

雨天、夜間の論なく撮影特別大割引

横須賀市逸見六十八番地

方波見寫眞館

本年三月開業

本市内外を問はず御報次第出張撮影の御依頼に應ず

横須賀市役所下

海陸軍御用

諸官衙御用

建音

建音

七七

乾物 蔬菜 果實  
罐詰 鶏卵 販賣

横須賀市中里

石垣藤吉

海軍御用達  
動力挽材業

横須賀市若松

池上幸造

電話七八番

神奈川縣横須賀市大瀧四十五番地

横須賀肥料株式會社

電話五一一番

代表 取締役 岡本慶三郎

營業種目

各種時計並ニ附屬品、寶石入及彫刻  
指環、金銀眼鏡及双眼鏡、貴金屬裝  
飾品、徽章及紀念盃調製、寒暖計並  
二晴雨計類

原時計店

大瀧町(郵便局隣)





横須賀名物

元祖栗餅

若松町七十八番地

濱田や 椎津多吉

祝開港五十年

米穀酒類薪炭

味噌醬油罐詰

販賣

横須賀市汐入三六五

野川徳次郎

電話(ノ)又(ノカワ)

諸官衙御用達

横須賀市若松

志良玉屋商店

電話百十四番  
口座東京九八三六番

横須賀市深田米ヶ濱

志良玉屋製菓工場

營業品目

和洋酒類

味噌醬油

清凉飲料水

和洋菓子製造販賣

諸罐詰類

其他食料品一式

金井支店 茶木藥店

八二

橫須賀市坂本五番地

井 金 井 支 店

米酒 質商

電略(力ナイ)又(ハ)力  
電話 六十一番

賣藥 藥種

卸 問 屋

橫須賀市汐入町

茶 木 藥 店

電話 二〇四番

祝 開 港 五 十 年

矢野齒科醫院

橫須賀職工共濟會  
會員治療囑託

橫須賀市中里七番地  
(電話 六百十番)

矢野齒科醫院

八三

內科  
小兒科  
產科

横須賀市逸見五百三十六番地

佐々木醫院

院長 佐々木 惠秀

電話 三五四番

横須賀市佐野百六十九番地

質屋業 岩崎敬三

電話一五一番使用

海軍御用

錨サイダー製造元

和洋酒類販賣

横須賀市沙留

一本重太郎

電話四三一番

多年ノ研究ニ依リ乳牛改良飼料ヲ精撰シ牛舎清潔ナル所ニテ搾取シタル

純良無比精良牛乳販賣所

各病院御用

三ツ堀衛生牛舎

縣有種牡牛種付所

佐野町五十九番地

三ツ堀庄藏

電話三百十七番

乗客諸貨物迅速丁寧取扱

汽船三盛丸

横須賀扱店

電話四三二

營業場 大瀧町二十九番地

乾物 蔬菜 果實 販賣

横須賀市公郷

吉崎商店

橫須賀開港五十年祭  
紀念葉書發行所

內外繪葉書商

保知商會

橫須賀元町貳拾五番地  
振替口座東京壹四壹參壹

▲大正通信 每月一回發行

▲寫真遊覽畫報 每月一回發行

▲國華家庭世界 每月一回發行

來ルベキ御即位御大典ノ盛儀ハ勿論内外時事ノ出來事ヲ寫真トシテ滿載シ各會員  
ニ配本スルモノ何レモ會費一ヶ月金貳拾五錢會員御希望ノ各位ハ至急御申込アレ

保知商會代理部

御料理

松よしし

橫須賀市大瀧町

高橋芳

電話一七一番

營業科目

一般測量

土地境界貸坪其他

諸調査

建築設計圖案

湘南土地測量事務所

橫須賀市役所正門前

海軍御用達  
牛豚肉商

橫須賀市元町

清田與八

電話二四九番

海軍御用達  
純良  
牛乳  
搾取販賣

橫須賀市公郷

黒田豊吉

電話七二四番

### 陸海軍御用商

神奈川縣横須賀市大瀧町二十八番地

### 柴代商店

電話(一五八番)  
電略(シ)又ハ(シハ)

### 陸海軍御用商

横須賀市大瀧十六番地

### 飯島與助

純良

### 一山羊乳販賣

種畜分譲及純粹種牡ヲ以テ  
種付仕候

當市不入斗四〇三

### 牧場 大久保山羊園

申込所

小川一〇

薪炭 問屋 大久保商店

電話(二四四)

大久保山羊園、伊藤万作商店

### 嶄新美術

吳服京染

絹布白生地

半衿帛紗商

信陽堂

### 伊藤万作商店

横須賀市大瀧四番地

電話一四五

東京市芝區柴井町十  
五番地

電話芝二三二七

海軍御用達  
牛肉商

横須賀市元町

下妻竹松

電話二三番

◎ 乾物類  
青物果實類

横須賀市若松町

柴崎商店

電話五六八番

◎ 青物市場  
柴崎豊次郎

横須賀市小川町



### 青物乾物類卸小賣

横須市大瀧六番地

## 小林常吉商店

電話四六二

### 海軍御用糧食納品部

同 市旭町三十三番地

## 小林常吉出張店

電話一〇三

### 横須賀漁業組合

釣具一式 横須賀若松町

農産種子

## 西村銀次郎

肥料油粕

魚釣道具ハ御好ニ依リ即時調製ス

### 營業品目

實用登録第壹〇〇六四號 無線電信柱裝置  
 新案 汽機 汽罐 鐵橋  
 鐵骨家屋 鐵道用機械 電氣用機械  
 瓦斯用機械 石油發動機 紡績紡織用機械  
 各種唧筒  
 其他諸機械器具ノ製造修理据付  
 諸材料及雜貨販賣  
 土木建築請負 各種工事ノ設計

橫須賀市深田三百四十三番地

原鐵工所主

## 原峰吉

(電話四百〇八番)  
振替口座東京二六〇三三番

一日ノ極樂ハ

橫須賀座ニ限ル

橫須賀市大瀧  
演劇場

## 橫須賀座

橫須賀座、能勢トミ

## 藝妓屋

若柳子 おこん  
 若子 長ん子  
 一平 梅奴  
 と助 はと  
 静子

若松町五十番地

## 若柳能勢トミ

電話二四七番

砂糖  
小麥粉  
水飴  
油類

# 今井分店

横須賀市若松町

今井清吉

電話四一八番

御料理

# 吾妻館

横須賀市大瀧町

小菅たつ

電話一七三番

御待合

都

若松町八十番地

鈴木カヤ

電話四〇二番

御待合

春本

若松町五十番地

一本ハル

一船舶汽機汽罐及諸機械製造修理並ニ

鐵橋鐵骨家屋各種鑄物等一般鐵工木工業

横須賀市深田三百四十番地

株式會社

横須賀鐵工所

(電話一六八番)

御待合

千代田

若松町八十番地

渡邊マス

電話四五四番

土志田寫真館

若松町八十番地

土志田 潔

洋傘  
帽子商

電話五二四番

近江屋山脇商店  
横須賀市大瀧町通

●御手輕に一日の御保養には

○空氣は清潔見晴し頗る好き

米ヶ濱山の内

### 草津温泉

電話四二〇番

○料理及び辨當は御望み次第取寄せます

●新設高等座敷風呂の設備有り升

御待合

### 三河亭

横須賀市大瀧町

林のぶ

電話五三三番

### ◎弊店の洋傘は◎

◎原料精撰

御注文は御好みに

◎價格低廉

應じ最も入念に

◎製造確實

調製仕り候

### ◎弊店の洋傘は◎

横須賀市深田町  
高等女學校下

## 石崎洋傘商店

蒸氣殺菌

消毒牛乳

逸見

原徳右衛門

電話四百三十六番

材木商

横須賀市若松町八十番地

② 鈴萬店 鈴木萬吉

電話三三三番

藝妓家

● 壽 本

治 鈴木

喜樂 若丸

小鈴 園子

横須賀市大瀧町

粕谷寅之助

電話六四五番

御待合

横須賀市大瀧町

濱田家

濱田とめ

電話二〇九番

西洋御料理

横須賀市大瀧町

大瀧軒

柴崎富五郎

電話一一九番

搾取所并に  
消毒場所

横須賀市坂本九十番地

鬼澤牛乳搾取場

殺菌消毒牛乳

横須賀市沙入七番地

販賣所

鬼澤住之助

(電話三十五番)

●健康長壽ヨーグルド發賣時節柄無病健全に身體を保たんとすれば常にヨーグルドを飲んで  
腹内の病菌を掃除するに限ります(榮生舎ヨーグルド大販賣)



純良  
牛乳

搾取販賣

横須賀市逸見

梶ヶ谷三四郎

電話六七五

御待合 やよひ  
藝妓屋 豊屋

若松町七十八番地

大久保豊松

電話三〇六

浮世饅頭

喜良久

中里二番地

藝 妓 屋

小色	若福	太郎	小福	金彌
小うた	千鳥	歌子	あた利	

大瀧町四十三番地

花本 白杵サダ

名代一

なま蕎麥元祖

無油機械製

海軍御用

淺川製麵所

横須賀軍港  
深田下通  
電話六五三番

海軍砲術學校酒保御用達

横須賀市汐入拾九番地

旅 舍 横 須 賀 館

電話(五〇四番)

海 軍 御 用

横須賀防水布製造所

坂 本 町

諸國鯉節并鷄卵

御婚禮用式具



水野商店

大弓具製造販賣

海軍御用

本場乾海苔  
諸國銘茶

橫須賀市大瀧

永原商店

電話三三三六番  
振替口座一〇一〇九

乾海苔問屋

川崎町大師

永原出張所

海軍御用石炭運搬  
罐用飲料用清水販賣

石炭、コークス、石材、  
砂利、砂、セメント  
煉瓦等販賣

資本金拾五萬圓

橫須賀市小川拾番地

川井運輸株式會社

海軍御用

橫須賀市山王

鳥鷄卵商 蒔田清次郎

(電話一一二番)

諸印刷同印刷部

天下ニ敵ナシ勿驚安賣大將

洋物雜貨メリヤス類ハ  
當店ニ限ル

横須賀市大瀧町通り郵便局前

横濱分店 平井競賣店

軍港名物クラツカー

横須賀市山王町大通リ  
電話六四一

海陸軍御用

大盛堂全國總本店

松澤多三郎

横須賀よりの御土産にはクラツカーに限る御進物用罐一個十  
五錢より

横須賀名所ノ内

大瀧町郵便局横

遊園場 キリン園

電話七百九番

園内ニ酒保並ニ食堂ノ便アリ  
面白ク樂ク遊ブニハキリン園ニ限ル

和洋御菓子  
階上ケーキホール

横須賀市山王

松月堂 山内和作

電話二〇二番

有利なる輸出バテ

◎誰にも出来る内職◎

▲製作方法は無料にて教授す  
▲原料は市内何處にても配達す  
▲代金は製品と引換に支拂べし

輸出バテン

製作所

Ⓚ 小島商店

店主 小島金藏

横須賀市逸見五百二十六番地

當店は今回市内外代理店の大擴張を  
開始す希望者は至急申込まれたし

◎バテンは國家的事業◎

# 祝開港十五年

## 横須賀輸出織物加工同業組合

(横須賀市逸見五百七十二番地)

組長	内山惣松
副組長	小島金藏
評議員	高野東平
同	横田與八
同	堀場直吉
(バテンレース製造販賣請負業)	

横須賀市中里一〇

### 白米商 志村八藏

綿糸、眞綿商

### 山崎屋商店

横須賀市中里十三番地

### 模

蒸汽機關 附屬品製  
空中飛行機 作及販賣

### 産 婆

横須賀市稻岡三三

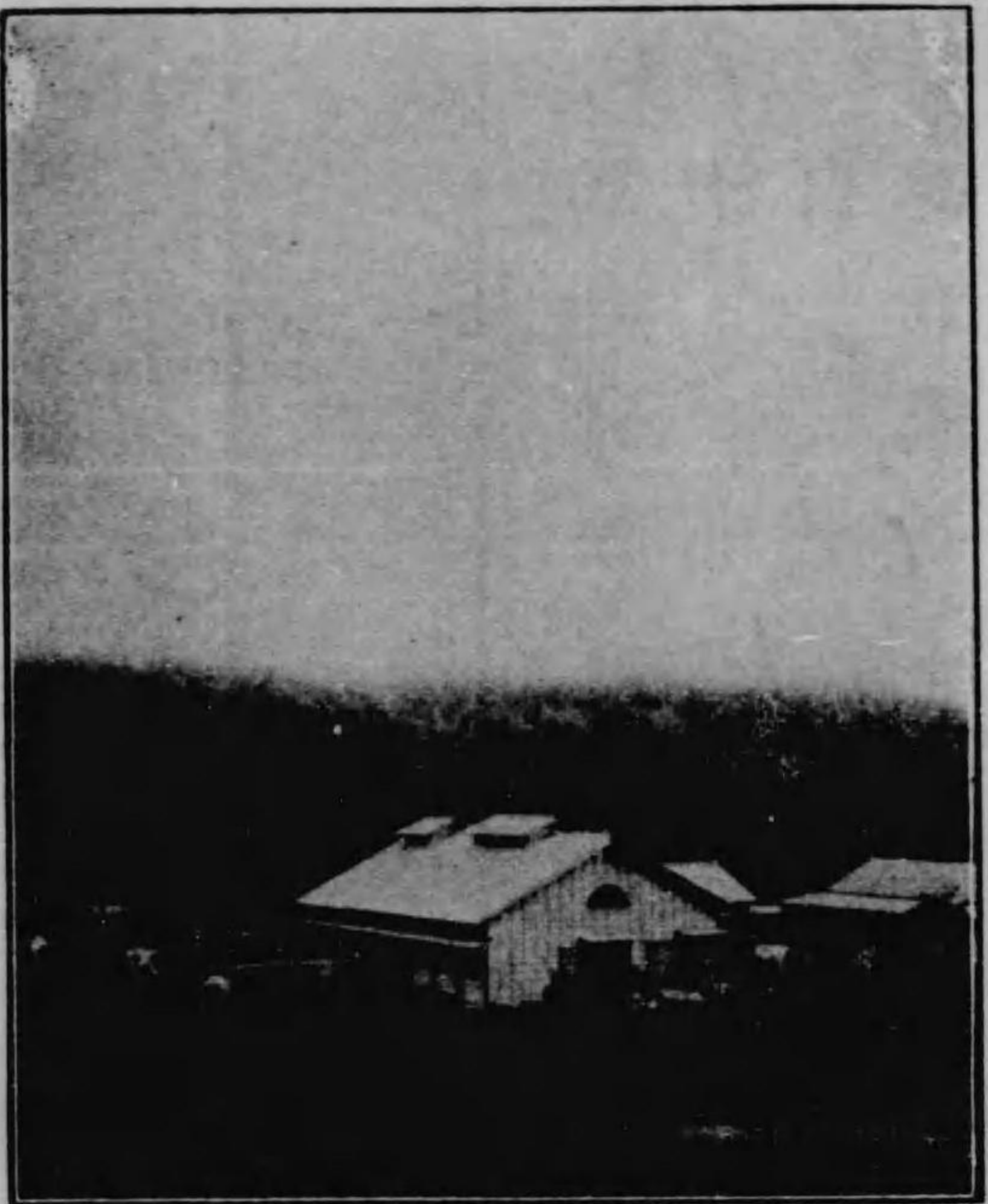
### 型

自動艇 横須賀中里  
電気機械 十三番地  
教育玩具 吉崎玩具店

高橋田鶴

志村八藏、山崎屋商店、吉崎玩具店、高橋田鶴

一二五



純良牛乳  
搾取販賣

公郷

原勘治

横須賀市深田(緒明山)七番地

觀世會横須賀支部

觀世流謠曲指南

高橋晋三

横須賀市沙入三二二三

⑧ 飯島支店號

米酒薪炭  
和洋酒砂糖商  
谷連次郎商店

電話六七四番



# 御料理 常盤

橫須賀市大瀧町  
電話一七四番

■洋品雜賀	■綿布	■吳服
	■玩	■箆筒家具

橫須賀市元町

## 雜貨屋吳服店

電話(七四三九)

三重商會、川口茂登、内海自轉車店

一三〇

### 海陸各部御用

米酒雜貨

三重商會

横須賀市中里一〇

△同精米部

同市中里一〇

糸綿組紐類

同綿糸部

同市佐野六〇〇

電話四十九番

横須賀市汐留二十九番地

醫科大學產科修業

產婆川口茂登

自轉車販賣並修繕

山王三番地

内海自轉車店

株式會社 本所銀行

横須賀代理店

元町九番地

電話長二二一

本所銀行代理店、高梨支店

東京市深川區冬木町十一番地

高梨本店

電話本所特長三三二八番  
特三二九番

同所

高梨精米所

海陸軍糧食御用達

△<sup>米穀</sup>高梨横須賀支店

電話長二二〇番

東京市日本橋區新乗物町四番地

高梨支店

電話浪花一七五番

同牛込區市ヶ谷谷町八十六番地

高梨支店

電話番町五六二番

一三一

海軍御用商

大久保商會營業部

大久保角之助

横須賀市大瀧二十四番地

(電話五二〇番)

御料理

明ぼ乃

横須賀市小川町海岸

(電話七五番)

海岸ニ臨ミタル三層樓ニシテ近ク  
房總ノ諸山ト相對シ眺望絶佳ナリ

最新流行男女洋服裁縫

洋服裁縫 プレツシング部

佛國染色業

クリーニング

駿東社支店

沙留三十四番地

洋服裁縫は小林に限る

若松町五十番地

小林洋服店



印 サイダー

オレンヂ

レモン

殺菌的設備ノ完成ハ不拔ノ信用ヲ維持シ

向上的不斷ノ努力ハ逐年産額ヲ増大セリ

大瀧三十六番地

一本清涼飲料工場

# 祝開港五十週年

専ラ原料ヲ精選シ衛生的美味ヲ調製仕候

御注文品ハ御好ニ依リ正確迅速ニ配達可致候

横須賀市大瀧拾番地金子跡

和洋菓子舗

# 香玉

(電話六百六十四番)

横須賀市

大瀧拾八番地

## 藝妓家

# 新よし

電話三百四十九番

新よし内

金時 信夫 與志 才吉 鳥松 龜吉 源一 平若

御料理魚勝

横須賀市小川三番地  
(電話二〇九番)

藝妓家

新花家

(電話壹六五)

三	福	吞	榮	三	榮	花
子	龍	子	子	江	龍	江
花	京	小	勝	芳	手	豆
若	子	龍	子	子	遊	子

諸國御銘茶  
本場乾海苔  
諸乾物洋食  
原料卸小賣  
横須賀名産  
ひじき商

横須賀市

中里十番地

# 清水商店

電話七一五番

# 純良牛乳 搾取販賣

横須賀市佐野

# 原為吉

電話六二四

御待合千歳  
藝妓家新吾妻

小吉房江

横須賀市若松

岡安たつ

電話番号一七二



今井勇太郎商店

和洋食糧品、乾物類砂糖  
和洋罐詰類、洋粉製麵麩  
洋酒食器類、ミルクケーキ

海軍御用達

今井勇太郎商店

横須賀市元町  
(電話二十五番)



牛豚馬肉

西洋食糧品

大販賣

横須市若松町二十二番地

廣島屋號

小早川篤太郎

電話四百十七番

同所

洋食部

西洋御料理 喜陽亭

國產冷生ビール



エビス

一四五

和洋酒類各種  
西洋御料理  
清涼飲料水  
カフエー  
室内清涼風味佳肴  
精々大勉強仕候間  
陸續御來飲を乞ふ  
横須賀市若松二十二番地

エビスバー  
(電話六五七)

小早川篤太郎、喜陽亭  
三浦屋旅館

一四四  
一四六

高等旅館料理

# 三浦屋旅館

横須賀市 汐留

電話 一一六

○多数宴会は特別勉強

北海道 信州  
バタ ヤム



海軍御用  
各種食品

サクラグミ

オミヤゲは

「サクラグミ」

■御注文の節は■

店にお出でになつたと同じく、市中は遠方でも、少々でも、すぐさま自転車を持つて参ります

一四七

高等旅館料理

# 三浦屋旅館

横須賀市沙留

電話 一一六

○多數宴會は特別勉強

北海道バタ  
信州ジヤム



食料品各種  
海軍御用

サクラグミ

オミヤゲは

サクラグミ

■御注文の節は■

店にお出でになつたと同じく、市中は遠方でも、少々でも、すぐさま自転車を持って参ります

露光量違いの為重複撮影

山本勇藏

砂糖小麦粉商

金山本勇藏

佐野

電話四百五十一番

一四八

砂糖小麦粉商

金山本勇藏

佐野  
電話四百五十一番

三浦半島

浦賀町  
武山村  
長井村  
三崎町  
初聲村

營業科目

鐵	鑄	各	艦
桁	鋼	種	船
橋	鑄	汽	新
梁	鐵	機	造
及	及	及	及
諸	打	汽	修
機	物	罐	理
械	一	製	
製	式	作	
作		修	
		理	



浦賀船渠株式會社

本社及工場所在地

本社 木  
工場 神奈川縣三浦郡浦賀町谷戸(電話 四  
二十五番)

同工場 同縣同郡同町川間(電話 三十九番)

同 橫濱市大野町二番地(電話 六二四番)

出張所 東京市麴町區有樂町三丁目三番地(電話 新橋一九五番)

出張員詰所 橫須賀市元町三十二番地(電話 二四一番)

祝五拾年

浦賀町大津

勝男館

祝五拾年

浦賀町大津

勝男館

勝男館

一四九

營業科目

各種汽機及汽機製作修理  
鑄鋼鑄鐵及打物一式  
鐵桁架梁及諸機械製作

浦賀船渠株式會社

本社及工場  
本工場の事務所は浦賀町大津三丁目（電話二四九）  
本工場の工場は浦賀町大津三丁目（電話二四九）  
本工場の倉庫は浦賀町大津三丁目（電話二四九）  
本工場の事務所は浦賀町大津三丁目（電話二四九）

相州浦賀町田中拾五番地

命 富高屋吳服店

飯田市次郎

電話(十八番)

電略(イイ子)

相州西浦賀名産水飴製造所

元祖三百  
年來發賣 和泉屋芳春軒

(電話十八番)

相州浦賀町谷戸

和洋品雜貨商

命 富高屋支店

(電話十八番)

旅 館 御 料 理

陸 海 軍 御 用 宿

鈴 木 旅 館

神 奈 川 縣 三 浦 郡 浦 賀 町 荒 卷

電 話 十 九 番

海 友 社  
海 光 會  
牛 乳 搾 取 販 賣 所

高 梨 牧 場

相州浦賀町大津  
千貳百七拾壹番地



祝開港五十年

純良牛乳販賣

陸軍射擊學校御用

相州浦賀町大津  
九百八十三番地

菅野牛乳店

苗木栽培  
取次販賣

三浦郡武山村須輕谷

鈴木盛太郎

浦賀名産

元祖水飴

製造販賣

神奈川縣三浦郡浦賀町  
洲崎百廿七番地

瀧川豐吉

和洋御菓子

製造卸小賣

御注文ニ應ジ菓子御料理致候

三浦郡武山村林

清月堂

薪炭  
米穀酒類  
荒物雜貨  
煙草  
販賣

三浦郡武山

鈴木庄太郎

御料理

三浦郡武山村林

御旅館

鈴木屋

長井横須賀間

同三崎間  
同葉山間

乗合馬車發着待合所

# 湘南馬車會社

◎横須賀停車場 同三浦郡長井村  
◎長井停車場 同三浦郡長井村

横須賀 乗合馬車  
長井間

御乗客に對し親切に且つ丁寧を旨とし、専ら不便不愉快なき様注意を拂ひ、出來得る限り便宜を計り、自己の利益を犠牲として、飽迄も郡市の發展に努力するは吾社の満足する處にして、又營業の基礎なり。夏期中は特に回數を増加し、避暑客のため臨時馬車の設けあり。湘南地方は避暑客多く殊に長井は前年より殆ど五倍せり。  
◎本案内記中に時間表及賃錢表あり。御一覽を乞ふ。

經營者

三浦郡長井村

嘉山六郎左衛門

同

原田耕策

當館は三浦半島の西南端逗子と三崎の中間に位し、風景絶佳、四時に適し、料理新鮮、価格は低廉を以て大勉強仕候間是非共御來遊の程懇願奉候

三浦郡長井海岸

旅館 富士屋

御料理 御旅館 長井館

三浦郡長井

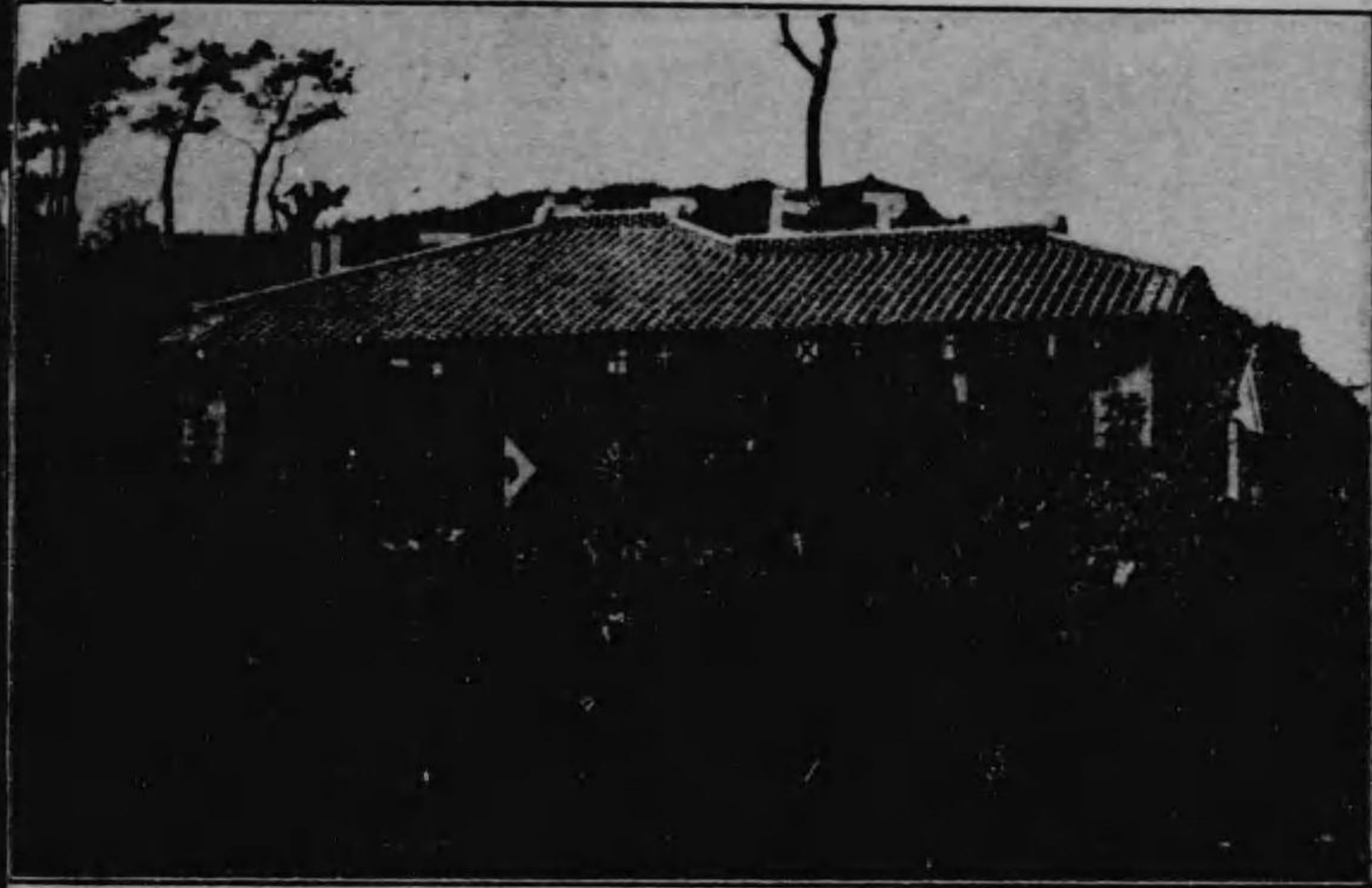
秋本房次郎

神占祈禱 奇効出現

紋榮稻荷教會本部

三浦郡長井

貧困者ニ對シ無料祈禱ス



◎當地ヨリ東京へ汽船賃ハ往復  
金四十二錢ナリ

- 一、常館ハ改築落成セシ故眺望絶佳御座敷ハ清潔デス
- 一、常館ハ流船發着所ノ際ナレバ流船ニ乗降ニ非常ニ御便利デス
- 一、常館ハ海中へ張出シアル運動場ヨリ魚釣游泳等モ出来マス
- 一、常館ハ懇切ト廉價ト御便利トニ注意精々勉強致シマス
- 一、常館ハ内湯トシテ獨特ノ温泉的沃度湯ノ設備モアリマス

沃度温浴ノ効能

（りうまちす。しんけいつう。せんき。すばく。づんう。めまい。しんぞう病。其他諸病ニ特效アリ）

相州三崎

四季 好適 旅館はつせ館

電話三崎十二番

◎故ニ家族的一日ノ御清遊ニハ  
好適地ナリ

南部屋號

小村吳服店

三浦郡三崎町

小村康平

電話二番